



台風一過(たいふういっか)

【大人の対応 冷静な姿勢】

起承転結(きしょうてんけつ)とは、物語の筋でよく使われる言葉です。

私(わたくし)の場合は、子どもたちにわかりやすく、

起…話の「始まり」、承…話の「深まり」、転…話の「変わり」、結…話の「終わり」

と説明してきましたが、一

これは去年の学校だより12月号の書き出しです。



3週間ほど前に5年生のクラスで、この起承転結について話し合っていたときのこと。『スーパーに行ってびっくり! さあ何があった? 何が起こった?』というお題で考えてもらいました。当然、児童に想像や仮定をしてもらい、この場合は「承」の部分を考えてもらったわけです。その中である子が、「ある日スーパーに行ってびっくり! なぜかという品物が何もなかったから」

と回答し、すかさず私が、「もし本当にそうならあせるしこわいだろうな。災害がおこったときとか考えるとー」と返しました。そして次の週にあの台風…。スーパーやコンビニのあの状況や停電を目の当たりして、災害に対する備えと心構えの大切さを再認識しました。

あらゆる職種・業界でも役職にいる限り、危機管理という言葉が常についてまわります。そしてことが起きた際にベストな対応ができることが稀であることは、これまでの世間の批判や論評から一目瞭然。願わくばベストは無理でもベターに終わって欲しいと、常々願っているのは私だけではないでしょう。

No Image

No Image

9月7日(金)にお子様を通じて配付しました市教育委員会
お便りは目を通していただけたでしょうか。本校でもこの件つ
いての問い合わせがありました。ただうちの場合、お家の方の
思いや願いはそれぞれあれども、どなたも大人として対応して
いただいたことに感謝しなければなりません。いざというとき、
緊急時、不測の事態のときにこそ気持ちがストレートに出るわ

【裏面に続く】

けで、その意味においても皆様方の冷静な姿勢を、私自身も見習わなければならないと思っています。

【 ??? を反省した次第】

1 番早い避難所開設。これは校長会での説明をもとにすると、どうやら市内の学校でうちが一番早かったようで、台風が来る前日の夜7時に開設しました。

地域の方が一人来校され、風も雨も何もなく、ただ時間だけが過ぎ去り、やがて窓の外は明るくなって…。正直私の思いは ??? でいっぱい。もちろん市の職員さんも来られて、翌日の夕方6時まで24時間ずっと学校にいました。

また、お隣の連絡所にもたくさん人が詰めていて、台風が来たり警報が出たりすると、こんなにも人が動いていることに、今更ながら驚きもし感心もしたということです。

その中に、仕事ではなくボランティア的な役職で働いている方もおられることをご存じでしょうか。自分の家のことや家族のことはさておき、地域のために汗を流している姿を見て、私の ??? の思いを反省した次第です。

【正しい知識で正しく怯(おび)え 正しい行動を】

海の向こうの深いところで地震が発生したとき、あまりにも災害の規模が大きくて広がって、すぐには公的な救助・支援は期待できないことは明白です。ライフラインの中で比較的復旧が早いと言われる電気でもあんな状況でしたから。

建物の倒壊や津波から身を守る術(すべ)を知り、どんな対策を講じておくべきか。そして、避難所が大混在して物資がすぐに底をついたとき、自力で生き抜くためにどんな準備をすべきか。また、ウソやデマが流布されたときにどう対処すべきか。さらには他の者と協力しながら秩序ある避難生活をどう送るべきか…。

国や県や市の助け(「公助」といいます)があるまでに、自助(自分で自分の身を助けること)と共助(近隣で互いに助け合うこと)が必要です。

支援や介護が必要な状態でなければ、『誰かに何かをしてもらおう』から、『自分ができることから始めよう』に、発想の転換が必要なのかもしれません。